

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper vol.18-01 2018 spring



「心と体はずむ桜のグラウンド」 撮影：水田 孝 氏

INDEX

- 2 ● ごあいさつ 院長 井口 東郎
- 3 ● 市民公開講座報告
 - 健康教室の報告と平成 30 年度のご案内
- 4 ● 診療活動の現況 ―総合内科―
- 6 ● 新任医師の紹介
- 7 ● 地域医療連携室より
 - 介護連携懇談会
 - 編集後記
- 8 ● 外来診療担当表

佐世保共済病院の理念

博愛の精神 人の和 自己研鑽

基本方針

1. 地域のニーズに応え信頼される医療を目指し、地域医療に貢献します。
2. 他の診療機関とともに地域の皆さんの診療と健康増進に努めます。
3. 新しい医学および医療の知識と情報を取り入れ、自己啓発に努めます。
4. それぞれが自己の責任を自覚し、安全な医療を目指します。
5. 病める人の苦しみや喜びを分かち合える心を持ち、患者さん中心の診療に努めます。



新しい年度のスタートにあたりまして 院長よりご挨拶申し上げます

院長 井口 東郎

日本では世界に先駆けて人口減少・少子高齢化が進んでいるため、それを見据えた様々な国策が既にスタートしており、医療の世界は激動の時代を迎えています。病院の存立にとって医療の質を担保することはもちろん大切ではありますが、必要条件としてまずは「健全経営」が求められ、安定した経営基盤が構築できない病院は淘汰されてしまいます。2年ごとの診療報酬改定で経営基盤が不安定になるなか、この4月にも診療報酬と介護報酬の同時改訂がなされ、これを踏まえた上での経営戦略が今後の病院存立にとって鍵を握っています。地域における医療環境の変化を見据えて自らの病院の診療機能がどうあるべきかを吟味し、その変化に柔軟に対応してゆくデリケートな舵取りが求められています。

佐世保県北医療圏に目を移しますと、本医療圏では急性期病床が過剰となっはいますが、佐世保共済病院は地域の基幹病院として急性期医療を担ってゆくことが義務づけられています。佐世保には4つの基幹病院がありますが、昨今の医療情勢を鑑みますと、それぞれの病院が同じような診療をすることは本医療圏の地域医療にとって非効率的であり、今後は各病院間

の役割分担（棲み分け）が必要と思われます。佐世保共済病院としましては、佐世保県北医療圏における医療ニーズを勘案した上で、がん（消化器外科および腫瘍内科）、骨折（整形外科）それに周産期（産婦人科および小児科）を診療の3本柱に据え、診療機能の充実を図ってゆく所存であります。地域の医療機関の皆さまからは既に厚いご支援をいただいておりますが、佐世保共済病院が目指す今後の診療方針をご理解いただき、なお一層のご支援をお願い申し上げます。また、この度の診療報酬・介護報酬同時改定によって地域包括ケア病棟の運用にあたっては介護施設との連携も重要となり、共済病院としましては地域連携室に手厚く人材を配置し連携システムの再構築に取り組む所存であります。

佐世保共済病院では「博愛の精神」「人の和」「自己研鑽」という3つの素晴らしい理念を掲げています。この理念が形骸化することなく、新たな年度を迎えるにあたってこの理念の意味するところを再認識し、全職員が力を結集して病院のさらなる飛躍を目指して参ります。

「がんとの共生」を図る時代

院長 井口 東郎

がんは今や国民の二人に一人が罹患する時代となっています。近年の診断や治療法の進歩によって、一昔前は「がん=死」といった概念で捉えられていましたが、今では治るがんもあり、「がんと共生」を図る時代を迎えています。

佐世保共済病院ではがんの化学療法を診療の一つの柱として位置づけており、これまでも「がんシリーズ」と銘打った市民公開講座を開催して参りました。今回が5回目となりますが、視点を少し変えまして、「働く世代のがん患者支援」を主題として取り上げ、がん患者の就労支援と親のがんを子どもに如何に伝えるか(チャイルドケア)といったテーマについ

てお二人の専門家からご講演いただきました。また、これに加えて佐世保で実際にごん患者の支援に携わっておられる葬会代表理事の吉村氏より活動報告をしていただきました。この市民公開講座を契機にごん患者の支援の輪が広がる

ことを期待しています。

佐世保共済病院では今後も「がんシリーズ」と銘打った市民公開講座を開催してゆく所存で、がんに関する最新情報を市民の皆様にご提供して参りますので、数多くのご参加をお待ちしています。



健康教室の報告(2月~3月)と平成30年度のご案内(5月~7月)

健康教室「学ぼう! 身近な医学」

地域医療従事者研修委員会 事務局 山口 雅子

2月13日に2月教室「本当は怖い胆石症」、3月13日に3月教室「医療保険制度について学ぼう! ~入院費ってどのくらいかかるの?~」を開催しました。

2月教室は、肝胆膵外科部長の丸山先生より、どんな時に胆石症に気がつくのか、検査と治療、そして手術をすすめる理由についてお話しました。

3月教室は、医療連携室の加藤美紀 医療ソーシャルワーカーより、年齢別の入院費用と経済的負担を少なくする各種申請方法、さらに平成30年度の医療費について最新情報などをお知らせしました。

平成29年10月からスタートしたこの教室には、月平均68名の方にお越しいただきました。来年度も地域の皆さまのご意見を伺いながら、毎月第2火曜日14時~15時に当院8階大講堂にて行います(4月・8月・翌年1月はお休み予定)。医師、看護師、理学療法士、栄養士等の職員から身近な話題についてお話ししますので、お気軽にお越し下さい。



テレビ佐世保から取材をうける丸山部長

【5月~7月健康教室 講師】

- 5月教室：小児科医師
テーマ：小児の低身長について
- 6月教室：集中ケア認定看護師
- 7月教室：看護師・栄養士



臓器別専門医療に 総合的・包括的医療を加えることで 社会のニーズに応える

— 総合内科 —

総合内科部長 小川 隆一

● はじめに

総合内科の役割は医療ネットワークの要としての役割を担うこと、身体・精神の統合的・機能的視野から診断・治療を行うことですが、その医師像は置かれている診療現場により異なるという特徴があります。当科は1、受診する専門診療科を特定できない症状や検査異常についての診療 2、心身医療（ストレス関連身体症状・疾患の診療） 3、日常病（common diseases）の診療を行う診療科として昨年4月に開設されました。当科のこれまでの診療活動を振り返り、皆様にご報告申し上げます。

● 当科診療内容

院内・院外からご紹介いただきました患者さんの診療を主に行ってまいりました。院外からご紹介いただきました患者さんにつきましては、地域の先生方より2017年4月から2018年1月までの10ヶ月間に107名の患者さんをご紹介いただきました。内訳は男性38%、女性62%（図1）、年齢は若年者から高齢者まで幅広く分布していました（図2）。複数の疾患に罹患している患者さんがたくさんいまし

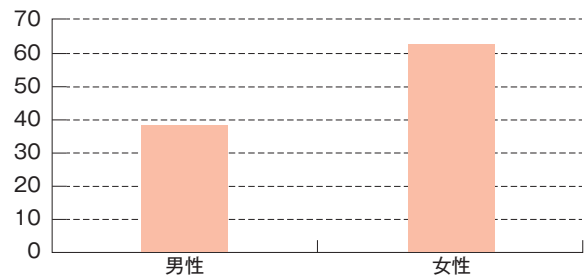


図1 紹介患者の男女別割合 (%)

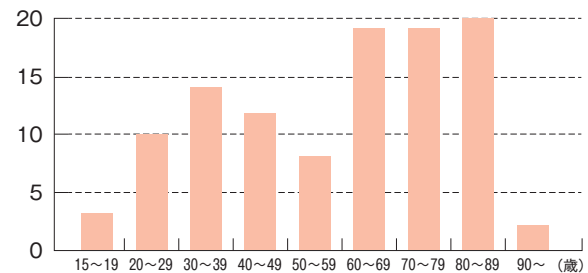
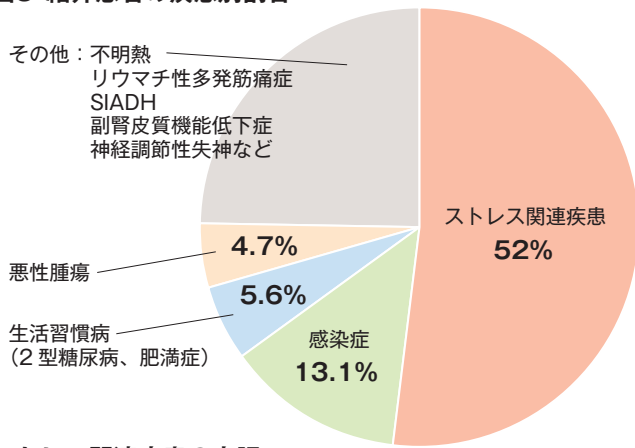


図2 年齢別紹介患者数 (人)

たが、主病名だけでの統計ではストレス関連疾患が52%と最多でした。その内訳は身体症状が前景に立つうつ病、いわゆる仮面うつ病：14.0%、疼痛性障害：10.3%、機能性身体症候群（不定愁訴とほぼ同義）：6.5%、機能性腹痛症候群：4.7%、パニック障害：3.7%でした。その他に機能性胃腸症、過敏性腸症候群、咽喉頭異常感症、心因性咳嗽、失声

図3 紹介患者の疾患別割合



ストレス関連疾患の内訳

身体症状が前景に立つうつ病（仮面うつ病）：14.0 %
疼痛性障害：10.3 %
機能性身体症候群（不定愁訴とほぼ同義）：6.5 %
機能性腹痛症候群：4.7 %
パニック障害：3.7 %
その他：機能性胃腸症、過敏性腸症候群、咽喉頭異常感症、心因性咳嗽、失声症、心因性発熱、めまい症 など

症、心因性発熱、めまい症など多岐にわたりました。次に多かったのが肺炎、感染性胃腸炎、百日咳などの感染症で13.1%でした。生活習慣病(2型糖尿病、肥満症)が5.6%、悪性腫瘍が4.7%でした。その他に、不明熱、リウマチ性多発筋痛症、SIADH、副腎皮質機能低下症、神経調節性失神などの診療を行いました(図3)。

このように診療した疾患は多岐にわたっていたのですが、ストレス関連疾患が約半数を占めました。総合内科、総合診療科ではどこの医療機関においても同様の傾向が認められるようですが、当院総合内科の担当医のサブスペシャリティーが心療内科であることが多分に影響しているものと思われます。

上記の統計には含まれていませんが、日常病(common diseases)につきましては当院の腎臓内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、呼吸器内科のスタッフにたくさんの患者さんを診療していただきました。

院内においては他科から食欲不振、腹痛・下痢・便秘などの消化器症状、高血圧、不明熱、白血球減少・増多、貧血、めまい、不眠、せん妄などについてのコンサルテーションに応じました。

当院では当科と時期を同じくして腫瘍内科が開設されました。病状に心理社会的要因が関与している場合に依頼に応じて介入致しました。このように当院で診療を受ける患者さんが適切な医療を受けるための一助となるように努めて参りました。

●心身医療について

上記のように当科は現状ではストレスなどの心理社会的要因が深く関与している身体の症状・病気の診療、いわゆる心身医療の実践を特色としています。患者さんの病態を的確に評価し適切な医療を施すためには、特定の臓器や組織だけではなく全身を診療すること、患者さんの多様な心理社会的要因を考慮した総合的な診療を行うことが必要な場合があります。治療においてはまずは身体へのアプローチを行いますが、心身相関が認められる場合は心(脳)にも働きかけることで身体の症状・病気の改善をめざします。その手段として、当科では薬物療法、心理療法を行っています。種々の検査で身体症状に見合う所見が認められない、身体症状が身体面への治療だけでは改善しない、身体症状にストレスが関与しているかもしれないといった場合に心身医療がお役に立てることがあるかもしれません。薬物療法につきましては末梢に作用する薬での身体症状の改善を目指しますが、効果が不十分な場合は患者さんの病態や意向を確認しながら中枢神経作用薬を利用します。心理療法につきましては、一般心理療法に加えて専門性の高い技法も適宜用いています。また、技法の改良や新しい技法の開発にも取り組んでいます。

●おわりに

生体においては諸臓器がネットワークを形成し、情報を交換しながら生態の恒常性を維持していることが明らかになってきています。患者さん一人一人にそれぞれの病態に合った適切な医療を提供するためには、臓器別に細分化、専門化された医療に加え、総合的な医療の発展が必要と思われます。このような医療を実践していくには院内におけるチーム医療に加えて、地域の医療機関とも密に連携をとりながら診療していくことが不可欠です。それぞれが自分の役割を果たし、相補的な関係の中で佐世保市・県北地区の医療レベルが向上していくことを願っています。当科はまだまだ微力ではございますが、その一翼を担うことができるように努めて参りたいと思います。今後ともご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

4月より15名の医師が着任しました。



耳鼻咽喉科部長 大橋 充



- ①宮崎医科大学・平成10年
- ②九州大学
- ③耳科手術 鼻内視鏡手術
- ④茨城県
- ⑤地域に貢献できるよう精進致します。よろしくおねがい致します。

- ①出身大学・卒業年
- ②在籍医局
- ③専門領域
- ④出身地
- ⑤趣味、その他一言

麻酔科医長 松永 祥志



- ①長崎大学・平成12年
- ②長崎大学
- ③麻酔一般
- ④長崎県佐世保市
- ⑤趣味：ゴルフ

外科医長 嬉野 浩樹



- ①久留米大学・平成17年
- ②久留米大学
- ③外科、肝胆膵外科
- ④福岡県
- ⑤地域医療に貢献できる様頑張ります。

外科 福田 純也



- ①久留米大学・平成27年
- ②久留米大学 ③外科一般
- ④佐賀県
- ⑤佐世保の医療に貢献できるよう頑張っていますのでよろしくお願いします。

腎臓内科 橋本 康平



- ①佐賀大学・平成27年
- ②佐賀大学 ③腎臓内科一般
- ④佐賀県 ⑤医師4年目で趣味はテニス・マラソンです。佐世保のために精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

循環器内科 中尾 英智



- ①佐賀大学・平成26年
- ②久留米大学 ③循環器内科一般
- ④久留米市 ⑤長崎に帰ってくるのは高校卒業以来で楽しみに参りました。どうぞよろしくお願ひ致します。

整形外科 江崎 克樹



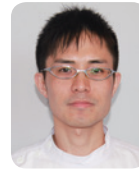
- ①九州大学・平成26年
- ②九州大学
- ③整形外科一般
- ④福岡県
- ⑤精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

整形外科 山田 恵理奈



- ①佐賀大学・平成28年
- ②九州大学 ③整形外科一般
- ④糸島(福岡県)
- ⑤趣味は海外旅行です。フットワーク軽く頑張りますのでよろしくお願いします。

泌尿器科 安田 拓司



- ①長崎大学・平成21年
- ②長崎大学
- ③泌尿器科一般
- ④福岡
- ⑤趣味は壁登り。ビールとウインナーがあれば幸せです。

泌尿器科 近藤 翼



- ①長崎大学・平成27年
- ②長崎大学
- ③泌尿器科一般 ④長崎市
- ⑤趣味は釣り・テニス。精一杯がんばります。気軽に声をかけてもらえたら嬉しいです。よろしくお願いします。

耳鼻咽喉科 樋口 良太



- ①山口大学・平成26年
- ②九州大学 ③耳鼻科一般
- ④福岡県
- ⑤佐世保に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

産婦人科 井町 佑三



- ①川崎医科大学・平成26年
- ②九州大学 ③産婦人科
- ④山口県
- ⑤明るく元気に頑張ります。よろしくお願いいたします。

産婦人科 田中 大智



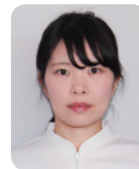
- ①川崎医科大学・平成26年
- ②九州大学 ③産婦人科
- ④福岡県直方市
- ⑤よろしくお願いいたします。ハウテンボスに行きたいです。

歯科口腔外科 木附 智子



- ①九州歯科大学・平成21年
- ②九州大学 ③口腔外科
- ④福岡県久留米市 ⑤趣味はダビング・旅行・料理です。最近はゴルフも始めました。仕事も趣味もフットワーク軽何でも頑張りたいと思っていますのでよろしくお願いします。

歯科口腔外科 安永 奈津子



- ①長崎大学・平成29年
- ②なし
- ③歯科口腔外科
- ④愛媛県
- ⑤精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



麻生胃腸科外科医院

〒859-3451 長崎県佐世保市針尾東町29-5 TEL 0956-58-4360

院長 麻生 大輔 先生

針尾東町で内科を開業しております麻生大輔です。内科医なのですが全科ローテーション研修と沖縄県での離島勤務をしたことで小外科や小児科の一般診療も行ってあります。

元々 父・麻生啓輔がS54年から開業しておりました。H15年からは私と2人で診療を行っており

ましたが高齢のため父は引退し現在は私一人で診療しております。

父はS52年～53年に共済病院

麻生胃腸科外科医院での研修



外科で勤務しました。貴院にはいつも当院かかりつけの方の診療をお引き受け頂き感謝しております。今後どうぞ宜しくお願いします。

年1～2名の研修医の臨床研修を行っています。写真は当院での研修風景です。

スタッフの皆さん



前列左から2番目が麻生院長

介護連携懇談会 平成30年2月16日

医療連携室 室長 井原 司

退院後、施設、在宅の患者支援と家族支援体制作り

佐世保市内の介護施設、機関のスタッフと、当院の連携室を中心とした関係職員との第1回介護連携懇談会を開催しました。

当日は105名（介護施設 48施設 73名 当院スタッフ 32名）と多くの関係者に参加していただきました。

会の進行は情報交換として当院のスタッフより「当院の紹介と現状報告、退院支援業務の報告」井手薬品株式会社 岩崎薬剤師より「薬剤師が行う在宅療養支援」ユアーズブレインの中澤さんより「介護事業に関わる診療介護報酬

改定動向について」の講演をしていただきました。質疑応答では各施設のかかえている問題点などの質問があり、担当者が対応していました。

その後の懇談会では介護施設の皆様と当院のスタッフが和やかな雰囲気の中で活発な情報交換を行い有意義で充実した連携会となりました。

これから先、超高齢化社会を迎え、入院時から退院後まで、その後の施設、在宅においても患者支援及びその

家族を支援していく体制作りをしていかねばなりません。そのために医療施設、介護施設との連携を緊密にし、患者様、施設間の情報交換、共有は欠かせません。今後この会を継続いたします。

今後共よろしくお願ひいたします。



編集後記

「きょうさいだより」は2001年創刊以来初のリニューアルを実施しました。新しくなった「きょうさいだより」はいかがだったでしょうか。より見やすく、よりわかりやすい広報誌を目指し、頑張っておりますので今後もよろしくお願いいたします。

編集委員 田代 祐子

外来診療担当表

平成30年4月1日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医長	金谷 晶子			●			●					腎臓疾患
	医員	山下 由希					●				●		腎臓疾患
	〃	橋本 康平	●						●				腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	医員	中尾 英智	●						●				循環器疾患
	非常勤医	田淵くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患
	〃	熊登御堂淳										●	循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	古鉄 泰彬	●		●		●						呼吸器疾患
糖尿病内科	非常勤医	牟田 芳美					▲	▲					▲は第2・4週のみ診察を行います
消化器内科	部長	河野 健次			●		●						肝臓疾患
	消化器センター長	宿輪 三郎	●								●		消化器内科疾患
	医員	吉良 圭史					●						消化器内科疾患
総合内科	部長	小川 隆一			●			●		■		■：心身医療診察日	
腫瘍内科	院長	井口 東郎					●						膵がん・胆道がん
	医員	二尾 健太	●				●				●		1.消化器がん（食道がん・胃がん・大腸がん・膵がん・胆道がん・肝細胞がんなど）2.乳がん、3.原発不明癌、4.肉腫（GIST・軟部肉腫）・その他
	〃	篠原 雄大			●				●				
外科	副院長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科
	乳腺外科部長	原田 洋			●								消化器外科・乳腺外科・一般外科
	消化器外科部長	富崎 真一	●		●		●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	肝胆膵外科部長	丸山祐一郎	●						●		●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科
	医長	嬉野 浩樹			●						●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科
	医員	福田 純也					●		●		●		一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●		●				肝胆膵外科・消化器外科・一般外科
乳腺外来		●		●		●					●		*乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい（要予約）
		嬉野		福田		原田					原田		
小児科	副院長	岡 尚記			●		●		※		●		小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般
	部長	上玉利 彰	●		●				●				小児血液、小児がん、小児一般
	アレルギーセンター長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息
	医長	村田 憲治	●				●		※		●		小児感染症、小児一般
	アレルギーセンター副	濱崎 雄平							▲	▲			小児アレルギー疾患（▲は第3週のみ診察を行います）
	※の第1・5週（村田）第2・4週（岡）が診察を行います												
	乳児健診					●							
慢性外来								●					水曜 午後2時から診察開始
喘息外来										●			木曜 午後2時から診察開始
脳神経外科	部長	山川 勇造		■				■	●	■		■	脳神経外科一般
	医長	尾藤 昭次	●		●		●				●		■は午後1時30分から診療開始 午後4時までに受付を行って下さい
整形外科	顧問	萩原 博嗣	●				●						膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科（肩肘手）、足部外科、スポーツ障害
	医長	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科（肩肘手）、スポーツ障害
	〃	烏山 和之	●						●		●		膝・股関節外科、リウマチ
	〃	上田 幸輝	●		●		●						膝・肩関節疾患、腫瘍
	医員	伊東 孝浩	●				●		●				膝・股関節疾患
	〃	江崎 克樹					●		●				整形外科一般
〃	山田恵理奈			●							●		整形外科一般
泌尿器科	部長	中村 貴生			●		●		●				泌尿器疾患
	医員	安田 拓司			●				●		●		
	〃	近藤 翼	●				●				●		
産婦人科	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	医員	二尾 愛	■		●				●		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	〃	井町 佑三	●		●		■				●		
眼科	〃	田中 大智	●				●		●		■		
	部長	原 潤	●		●	※		※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来（要連絡）													
耳鼻咽喉科	部長	大橋 充	●		●		●		●		●		頭頸部腫瘍、耳鼻咽喉科一般
	医員	樋口 良太	●		●		●		●		●		
	〃	友延 恵理											
放射線科	部長	野々下政昭											MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
	医長	梶原 寿浩											
	医員	近末 智雅											
麻酔科	部長	深野 拓	●								●		月～金午前バイン・緩和ケア外来
	医長	松永 祥志											月～金午後は手術麻酔
	〃	木本 文子			●		●		●				
	非常勤医	別府 幸岐											
ペインクリニック	部長	境 徹也	●		●		●		●		●		月～金午後は手術麻酔 受診等のお問合せは、直接外来までお電話下さい。
病理診断科	顧問	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	※	●	※	●	●	●	※	●	※	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症
	医員	木附 智子	●	※	●	※	●	●	●	※	●	※	歯性感染症など（※は予約患者のみの診察になります）
	〃	濱田 雄太	●	※	●	※	●	●	●	※	●	※	
健診センター	健診センター長	佐藤 浩信											※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155
	医長	原 敬一											

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号 TEL0956-22-5136(代) HP <http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

紹介受付専用FAX（医療連携室）0120-12-2067 急患室直通FAX ☎0956-22-6052 (代) FAX0956-25-0662

※休日・夜間のご連絡は、急患室直通的番号でご連絡下さい。